

政策 03 安全・安心に暮らせるまちづくり

施策 05 上水道の安定供給



あるべき姿

安全な水道水を安定的に使用することができます。

施策の成果状況と評価

指標	水質基準不適合率（％）		対基準値	指標値の注釈
	【水道課】		☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0.0	対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)	分析評価 管路の管洗浄作業や定期的な水源井の点検、配水池等の清掃業務を例年どおり実施したことが挙げられます。引き続き適正な水質の維持に努めます。
	R04実績	0.0		
	R05実績			
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	0.0		

指標	年間給水制限日数（日）		対基準値	指標値の注釈
	【水道課】		☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0	対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)	分析評価 前年度と同様、湧水や水道施設の事故等のために、減圧等によって給水制限した日数はなく水道施設の日常点検をはじめ、設備等の更新や維持管理に努めてきたことが挙げられます。引き続き安定供給に努めます。
	R04実績	0		
	R05実績			
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	0		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安定した水道水の供給

指標	水道施設利用率 (%)		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	57.9 (%)		対前年度	分析評価
	R04実績	55.6		☂ (低下)	
	R05実績			☂ (低下)	
	R06実績			☂ (低下)	
	R07実績			☂ (低下)	
	R08実績			☂ (低下)	
	R08目標値	58.0		☂ (低下)	

1日の平均配水量が減少したことが挙げられます。引き続き安心安全な水道水の供給に努めます。

基本事業01 安定した水道水の供給

指標	基幹管路の耐震化率 (%)		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	5.2 (%)		対前年度	分析評価
	R04実績	5.2		☁ (横ばい)	
	R05実績			☁ (横ばい)	
	R06実績			☁ (横ばい)	
	R07実績			☁ (横ばい)	
	R08実績			☁ (横ばい)	
	R08目標値	12.9		☁ (横ばい)	

今後上尾道路整備事業の影響により配水の状況が大きく変わる地域があるため、将来における基幹管路等の適正規模を見定めると同時に更新の検討をしている段階です。

基本事業01 安定した水道水の供給

指標	浄水施設の耐震化率 (%)		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
				☁ (横ばい)	
指標の動き	後期基準値	28.8 (%)		対前年度	分析評価
	R04実績	28.8		☁ (横ばい)	
	R05実績			☁ (横ばい)	
	R06実績			☁ (横ばい)	
	R07実績			☁ (横ばい)	
	R08実績			☁ (横ばい)	
	R08目標値	62.1		☁ (横ばい)	

浄水施設の耐震化率は昨年と同様でした。将来における浄水施設の適正規模を見定めるため、運用の見直しをしていることが挙げられます。

基本事業02 安全な水道水の供給

指標	水源の水質事故件数 (件)		【水道課】	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	0 (件)		対前年度	分析評価
	R04実績	0		☀ (向上)	
	R05実績			☀ (向上)	
	R06実績			☀ (向上)	
	R07実績			☀ (向上)	
	R08実績			☀ (向上)	
	R08目標値	0		☀ (向上)	

水源の突発的水質異常のリスクを表す水源の水質事故件数は、前年度と同様にありませんでした。定期的な原水水質の検査や水源施設（深井戸）の維持管理を実施したことが考えられます。

基本事業02 安全な水道水の供給

指標	総トリハロメタン濃度水質基準比率(%)		対基準値	【水道課】	指標値の注釈
			傘 (低下)		
指標の動き	後期基準値	19.1		対前年度	分析 評価 トリハロメタンは水道水の消毒として使用される塩素が原水の有機物に反応して生成される物質であり、消毒用塩素の注入が適量であったこと及び塩素の適正な保管により品質の劣化を防げたことが挙げられます。
	R04実績	22.5		傘 (低下)	
	R05実績			傘 (低下)	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			■ ■ ■ (低)	
	R08実績				
	R08目標値	21.0			

基本事業03 経営の安定化

指標	水道事業営業収支比率(%)		対基準値	【経營業務課】	指標値の注釈
			傘 (低下)		
指標の動き	後期基準値	97.9		対前年度	分析 評価 営業収益である給水収益が減少し、営業費用である委託料が増加したことが挙げられます。給水収益については、物価高騰の支援策としての水道基本料金2か月分免除を行ったことが要因とされます。費用については、水道事業ビジョンの中間見直し業務を委託したことが要因とされます。
	R04実績	89.5		傘 (低下)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			■ ■ ■ (低)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	103.0			

基本事業03 経営の安定化

指標	水道料金回収率(%)		対基準値	【経營業務課】	指標値の注釈
			傘 (低下)		
指標の動き	後期基準値	100.1		対前年度	分析 評価 物価高騰の影響を受ける市民生活の支援策としての水道基本料金2か月分免除など給水収益の減少による供給単価の低下、委託料や動力費の増加に伴う経常費用の増加により給水原価が上昇したことが挙げられます。
	R04実績	91.7		傘 (低下)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			■ ■ ■ (低)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	106.0			

基本事業03 経営の安定化

指標	有収率(%)		対基準値	【経營業務課】	指標値の注釈
			☀ (向上)		
指標の動き	後期基準値	91.3		対前年度	分析 評価 消火活動による消防用水や管路の漏水、例年実施している水道水の濁りの原因となる水道管内の付着物や停滞水を強制的に排除するための管洗浄水等水道料金の対象とならない水量は、前年度と比較して低下しました。
	R04実績	92.9		☀ (向上)	
	R05実績			目標達成度	
	R06実績			■ ■ ■ (達成)	
	R07実績				
	R08実績				
	R08目標値	91.4			